

# 平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般    マスタープラン：    3つの挑戦    /    施策番号 7-1

局・課名：    財政局・収税課

事業名	収税事務処理センターの活用	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
					24,959	24,392
<b>事業概要</b>  <b>【目的】</b> 財産調査補助業務を集約化し、徹底した調査を実施することにより、滞納処分の強化とスピード化を図るとともに、収納管理業務と一元的に処理することにより、収税事務処理センターにおける業務の効率化を図る。  <b>【内容】</b> 徴収担当で個別に行っている、預貯金等の多種大量の財産調査補助業務を集約化し、徹底した調査を実施する。また、口座振替依頼書のオンライン入力など、公権力の行使にあらず、職員の判断や意思決定を必要としない一定量以上の収納管理業務を委託する。  <b>【今年度要求のポイント】</b>  債務負担行為として契約を締結した収税事務処理センター運営業務(履行期間:平成28年4月1日から平成31年3月31日まで)について、予算を現計化し、継続実施する。	<b>債務負担行為</b>	期間	要求額(千円)			
		H ~ H				
	<b>主要要求内容</b>					(単位:千円)
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	委託料等	20,443	20,443	業務委託料等		
	金融機関照会通信運搬費	3,173	3,539	金融機関等郵便料金(発送用・返信用)		
	金融機関照会手数料	357	334	金融機関等(本店・支店)照会手数料		
	その他	419	296	事務経費等		
	合計	24,392	24,612			
	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					
<b>【経過(～29年度)】</b> H21.4月～ 財産調査センター設置 H24.4月～ 事業の継続実施(財産調査件数の拡大) H28.4月～ 財産調査補助業務は継続実施。市税コールセンターで行っている収納管理業務を、収税事務処理センターに一元化		<b>【30年度】</b> ・事業の継続実施		<b>【今後予定(31年度～)】</b> ・事業の継続実施		
<b>その他 特記事項</b>						
みんなの審査会対象外 関連事業：						

整理番号： 05 - 3 - 0120